

江東区

昔と今

# 富岡八幡宮

東京深川八幡宮  
(江東区教育委員会 所蔵)



富岡八幡神社 正面より本社を望む (江東区教育委員会 所蔵)

江戸時代、寛永4年(1627)に創建されたのが富岡八幡宮です。江戸三大祭りのひとつに数えられる「深川八幡祭り」で有名です。境内には「日本一の黄金神輿」や「横綱力士碑」、「木場の角乗碑」など深川縁の碑があるほか、江戸時代の測量家・伊能忠敬の銅像も建立されています。毎月1・15・28日には縁日が開かれ、第1・2・4・5日曜日には骨董市が、15・28日にはフリーマーケットが開催され、訪れる人々で賑わいます。また、境内社・大鳥神社では例年11月の酉の日

に酉の市が行われ、参道に趣向を凝らした縁起熊手の屋台が並びます。



現在の富岡八幡宮